

## 第8章 検証会議の考え方のまとめ

本報告では、第1章から第4章で、ゆりかごの運用実態とそれらに深く関連する事項について整理し、第5章で、ゆりかごが提起する諸課題について検討を行い、網羅的に課題解決のための方向性を提示してきた。また、第6章で、ゆりかごを全体的に評価し、そのうえで、第7章ではこれらのうち、国や地方自治体並びに関係者等がすぐにでも取り組む必要のある事項について提言をまとめてきた。最終章にあたる第8章では、当検証会議の考え方について全体のとりまとめを行う。

### 【ゆりかごの運用実態が示すもの】

- ゆりかごの設置を契機に充実が図られた慈恵病院の「24時間電話相談」には、医療機関ならではの安心感があることや専門的な見地からの援助や対応がなされていることによって、全国から年間約500件に及ぶ多くの妊娠・出産・子どもの養育に悩む深刻な相談が寄せられている。その中には、遠隔地からの相談で、救急車の要請や近隣の医療機関での受診指導を行うなど、緊急対応の結果、母子の生命の危機が回避される事例も見られた。

このように、「緊急対応を伴う相談窓口」が、全国の潜在的なニーズを掘り起こし、母と子の援助に結びついたらと判断される状況が見られた。

- 一方、結果的に匿名で子どもを預け入れることも可能な仕組みである「このとりのゆりかご」には、当初から「匿名で預かる」というフレーズが一人歩きし、運用開始の平成19年5月10日から平成21年9月30日までの約2年5か月の間、子どもの預け入れが51件あった。その中には、一人での自宅出産の直後に遠方から車や公共交通機関で新生児を連れて来る事例など、母子の生命・身体の安全が危惧される状況があった。また、幼児の預け入れや障がい児の預け入れが複数見られ、福祉専門職や教育職関係者による預け入れもあった。

このように、「匿名で子どもを預け入れることのできる仕組み」が、「子どもの最善の利益」を図るはずの「顔の見える相談手続き」を忌避させ、社会的に「倫理観の劣化」を懸念せざるを得ない状況も見られた。

- これらのことは、妊娠・出産・子どもの養育をめぐる、相談体制の充実や緊急時の一時保護など「トータルな支援体制の整備」が十分でないことを示している。特に、思いがけない妊娠・出産と子どもの養育に対する親身な実効性のある支援が必要とされている。

### 【ゆりかごの評価と今後の方向】

- ゆりかごに預け入れに来る親は、もともと「地域で相談する潜在力」を持っているとも考えられること、また、ゆりかごでは、結果的に7割強の事例で親が判明し、児童相談所など「公的な援助」に結びついていることなどから、「生命の救済」「遺棄の助長」「子どもの人生」というゆりかごをめぐる3つの論点から考えた場合、ゆりかごでは、「失われる生命が助かった」というよりも、「子どもの養育が支えられ、その後の援助につながった」と評価する方が、利用の実態には即していると判断される。

また、利用実態から、ゆりかごの特徴である「匿名性の担保」に着目した場合、妊娠や出産について周囲に相談できず思い悩む者にとっては、身近な者に対して匿名性が担保されることで、相談がしやすく、その後の母子の援助にもつながることが期待できると言える。

- 一方、前述したように、ゆりかごという「匿名で子どもを預け入れることのできる仕組み」が、「子どもの最善の利益」を図るはずの「顔の見える相談手続き」を忌避させ、さらに、社会的に「倫理観の劣化」を懸念せざるを得ないことも事実である。

また、子どもが預け入れられた場合、「公事（おおやげごと）」として、「子どもの最善の利益」や「出自を知る権利」の観点から、児童相談所等公的機関による社会調査等がなされることは当然であり、社会的には匿名であり続けることは認められない。

- このように、ゆりかごの匿名性は、「預け入れる者にとっての利益」と「子どもの将来にとっての不利益」の「二面性」を持っていると指摘できる。

- 実際には、ゆりかごについて、慈恵病院では、実践と経験の積み重ねを経て、相談業務や危機対応をより前面に出した「新生児相談室」として運営することを、一層明確化した。現在の「相談業務と一体的に運用されるゆりかご」は、「高い相談技能に支えられた対応」「医療機関であることの安全性と安心感」といった特長をもち、現在の相談事例などの実績も含めて考えれば、「全体としては多くの生命につながり、多くの事例が救われている」と評価することができる。

- 「相談業務と一体的に運用されるゆりかご」は、第6章の1の(3)で述べたとおり、①子どもの遺棄の防止、②出産にまつわる緊急避難、③周産期の親の精神的混乱によって子どもが犠牲になることを防ぐための一時保護といった3点において、一定の機能を果たしていると考えられる。

- ただし、ゆりかごと同様の仕組みが、相談業務や危機対応を伴わない、単なる匿名で子どもを預け入れるものとして、今後、設置・運用されることについては、「子どもの

最善の利益」を損うのみならず、預け入れる者に対しても「誤解」を与え、かつ、社会の「倫理観の劣化」を招きかねないという懸念があることから、大きな問題であり、当検証会議としては、容認することは難しい。

- こうしたことに鑑み、ゆりかご全体としては、積極的な意義が認められる一方で、第5章で包括的に述べてきたとおり、課題も多いと言える。このため、今後、「生命・身体の安全確保の徹底」に努めることはもちろんのこと、極力、「匿名性を排除する努力」をすることが重要であり、引き続き、運用状況を注意深く見守っていくべきと考える。

#### 【ゆりかごが提起したこととその対応：提言】

- ゆりかごの利用実態と病院の相談事例からは、日本全国で、妊娠・出産に一人で思い悩み、身近な者や公的な相談機関に相談できない女性が多く存在することが明らかになった。また、そうしたニーズは今後とも存在していくものと考えられる。前述したように、「相談業務と一体的に運用されるゆりかご」は、こうしたニーズに対し、一定の機能を果たしていると考えられる。
- また、ゆりかごの問題を契機として、生まれてからの児童の福祉を図る「児童福祉法」や児童虐待防止を図るための「児童の虐待防止等に関する法律」の理念や体系と、妊娠・出産をはじめ母子の健康を目的とする「母子保健法」の理念や体系との間に、「切れ目」があることが、明らかになりつつある。
- これらのことを踏まえ、国においては、ゆりかごの問題が都道府県の枠をこえた「広域的な問題」であることを受け止め、第5章の包括的な提言や第7章の具体的提言などを基に、新しい仕組みの創設も含めて、「妊娠期からの相談体制や緊急対応を含めた総合的な体制の整備や制度の運用改善」「社会的養護制度の改善」等について検討されることを望むものである。
- その際、前述したように、ゆりかごの匿名性が、「預け入れる者にとっての利益」と「子どもの将来にとっての不利益」の「二面性」を持っていることから、それぞれを保障すること、つまり、「親が身近な者に知られず、かつ、子どもの育ちや将来に必要な情報は確実に収集できる仕組み」として整備されることが必要である。
- ゆりかごから見える諸課題への固有の対応は、「思いがけない妊娠」への相談対応と一時保護対策であり、そうした観点からの「切れ目のない支援」の取組の強化が求められる。具体的には、以下の2点である。
  - ・ 「匿名で相談ができ、一時的に母子を匿名のまま緊急保護し、短期の入所も可能な設備を備えた施設」が、全国に一定か所整備され、そこを中心にネットワークが形成

されることが必要である。その場合、医療機関での整備が望ましく、それを公的に支援する形が期待される。さらに、相談業務についても、現在、慈恵病院で実践されているようなノウハウを一つのモデルとして、全国の公的な相談機関でも実践することを検討していく必要がある。また、すべての周産期医療機関のソーシャルワーク機能を向上させる必要がある。

- ・ 公的相談機関の技能の向上を図り、どの地域でも実践できる技能が持てるようになるため、国において、「妊娠・出産・母子の保護に関わる連携の拠点となるナショナルセンターとしての機能を果たす組織」の創設を検討されることが必要である。

### 【ゆりかごが問いかける社会のありよう】

- ゆりかごの問題は、私たちに多くのことを問いかけた。ゆりかごが設置されて約2年5か月の間に51人もの子どもが預け入れられたという重い事実は、結果的には、今の社会にゆりかごが必要とされていたことを物語っている。
- ゆりかごというシステムが必要となった社会的背景には、現代社会において、「核家族化」や「地域社会のつながりの希薄化」が進むにつれ、血のつながった実の親や親族だけでは育児ができにくく、「子育て家庭が孤立化している状況」がある。さらに、個々人の意識に目を向ければ、ゆりかごの事例の一部には、今なお「世間体を重んずる風潮」や戸籍が汚れるといった「歪んだ身内意識」を垣間見ることができる。

ゆりかご事例から見えるのは、社会のありようの一面であり、現代社会の子育てにおいて個人や個々の家庭だけでは背負いきれないものが形として噴出している状況である。今に生きる私たちには、社会全体としてそのことを真摯に受け止めることが求められており、そのことによって、すべての子どもたちの福祉が守られることを願っている。
- ゆりかごは、私たちの住む現代の社会が生み出したものであり、その評価は、現時点において、真摯に論じることはもちろんであるが、その際、「後世からの評価」あるいは「大きくなったゆりかごの子どもたち自身の評価」にも思いを致す必要がある。